

2011.07.16 (土) 晴れ 17 (日) 晴れ	大嵙尾根から飯豊山、 北股岳、丸森尾根周回	(1315) E/S 6名：男6名
行程		
1 日目：豊栄道の駅 3：15＝飯豊山荘前 4：20 4：50～～桧山沢吊橋 5：40～～千本峰 10：30 昼ご飯 11：15～～宝珠山 14：40 15：00～～飯豊山 17：40～～御西小屋 19：00		
2 日目：御西小屋 5：50～～梅花皮小屋 9：20 北股岳 10：00 10：40～～門内小屋 11：40 扇ノ地紙 12：05～～地神山 12：50～～夫婦清 14：50～～飯豊山荘前 16：30～～ 17：10＝豊栄道の駅 18：50		
1 日目行程時間（休憩含む）14 時間 10 分 2 日目行程時間（休憩含む）10 時間 40 分		

今年どうしても行きたい山、大嵙（だいぐら）尾根から登る飯豊山。2月頃から新潟の山の会の仲間と行く予定を立て7月の16日17日に行く事に決まりました。メンバーは男6人、平均年齢63.3歳、私「67歳」で最年長なので付いて行けるかな？豊栄の道の駅に集合、そこから2台の車に分乗、飯豊山荘先の駐車場まで。準備をし、リーダーが登山届を出す。今日は連休の始めなので警察官も来ていました。登山道の様子を聞くとピッケルやアイゼンは必要ないと言うので車の中において行く。ゲートの横を通り車道を温身平で石転びへの道と別れ川沿いの道を吊橋まで歩く。此处で休憩。吊橋を渡ると厳しい急登が始まる。



ゲート

休場ノ峰への急登で1人体調が悪くダウン、その人の荷物を少し減らす為、皆で少しずつ分担して持つ。その後千本峰で昼を食べ少し休憩、此处までは予定時間と同じ。此处からは急な岩稜の下り、へつり道、岩稜の登りと緊張の連続、又、クサリやロープなど人工的な物は一切無し。殆ど手入れされた跡の無い登山道を木や草につかまりながら進む。又荷物も重く（15K 余り念の為ツエルト

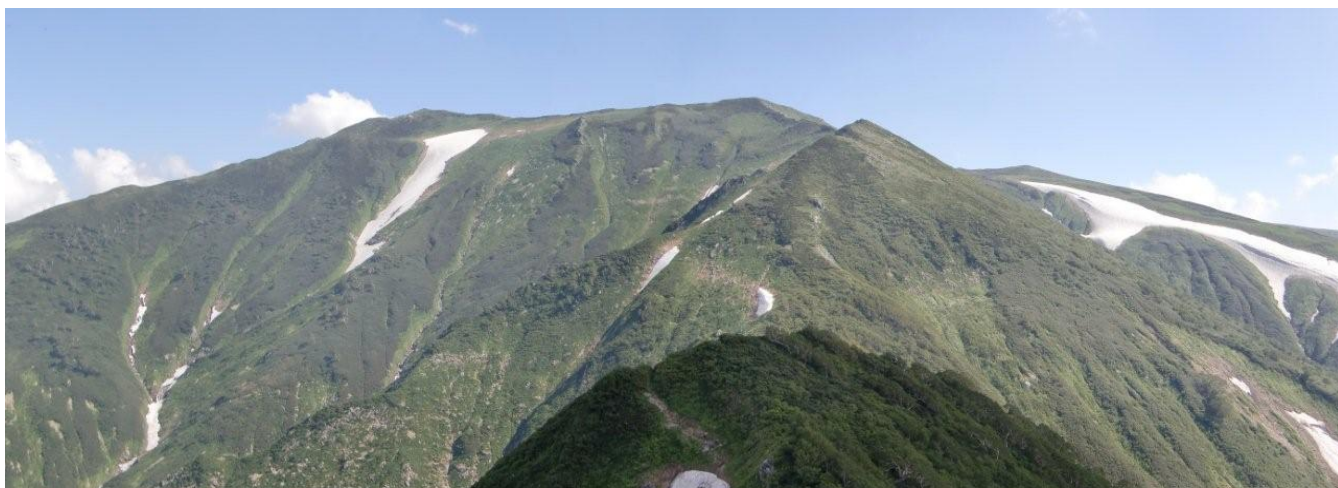


桧山沢の吊橋

や非常食3食分）暑さとで宝珠山の登りで足がつりダウン、荷物を少し他の人に持ってもらう。3リットルで大丈夫と思った水も残りわずかになり雪渓から登山道に流れ出した「泥混じり」の水を飲んだり、あまり綺麗で無い雪渓の雪をペットボトルに詰めたりと山での水の大切さを痛感する。

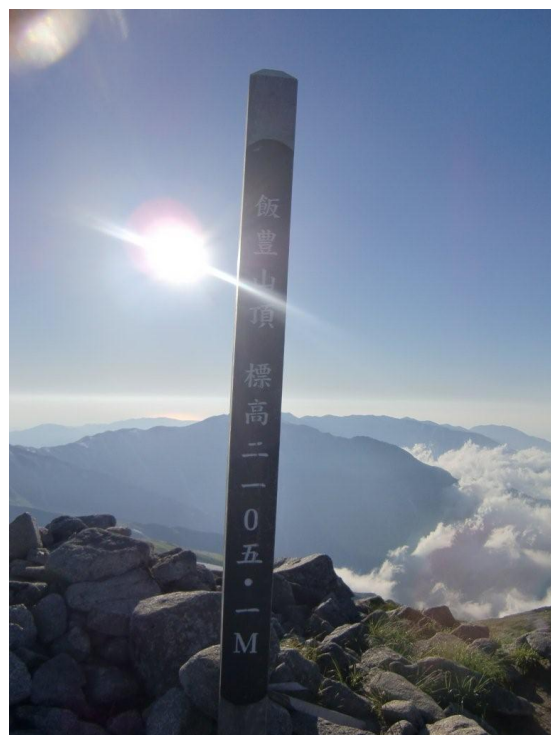


宝珠山



宝珠山から見た飯豊山

具合の悪い左足を騙し騙し宝珠山へ予定より 1 時間 20 分遅れで着く。途中の登山道には「ハクサンコザクラ」の群生や「ニッコウキスゲ」が綺麗に咲いているも写真を撮る余裕さえ無い。宝珠山の山頂からは直ぐ近くに飯豊山が見えるがアップダウンの尾根がノコギリの歯の様に続く大嵩尾根、まだまだ時間がかかる事でしょう。此处から元気な 2 人に先に御西の小屋に行ってもらい寝る場所を確保して貰う事にしました。此处からの下りが又緊張の連続、鞍部まで下り切っていよいよ飯豊山への登りが始まる。この頃私の足はだいぶ良くなったが今度は別の人が登りでスタミナ切れ、休み休みの登りになりました。急登も終わり山頂の標柱が見えるが此の御前坂、石がゴロゴロと歩き辛くなかなか進まない。登山道脇には「オヤマノエンドウ」の紫色が綺麗。この頃になると風も有り涼しく気持ち良い尾根歩き。予定より 2 時間遅れで飯豊山頂に着く。写真を撮り 360 度の眺望を楽しむ。今までの辛さも吹っ飛ば、心地よい風が頬をなでる。遠くに宝珠山、そこから続く恐竜の背中見たいなノコギリ状の大嵩尾根、あの尾根を良く歩いて来たものだと皆さん感激、そしてもうこんな辛い所へはもう来ないとも話す。後は御西の小屋へ行くだけ、此处からは稜



飯豊山々頂

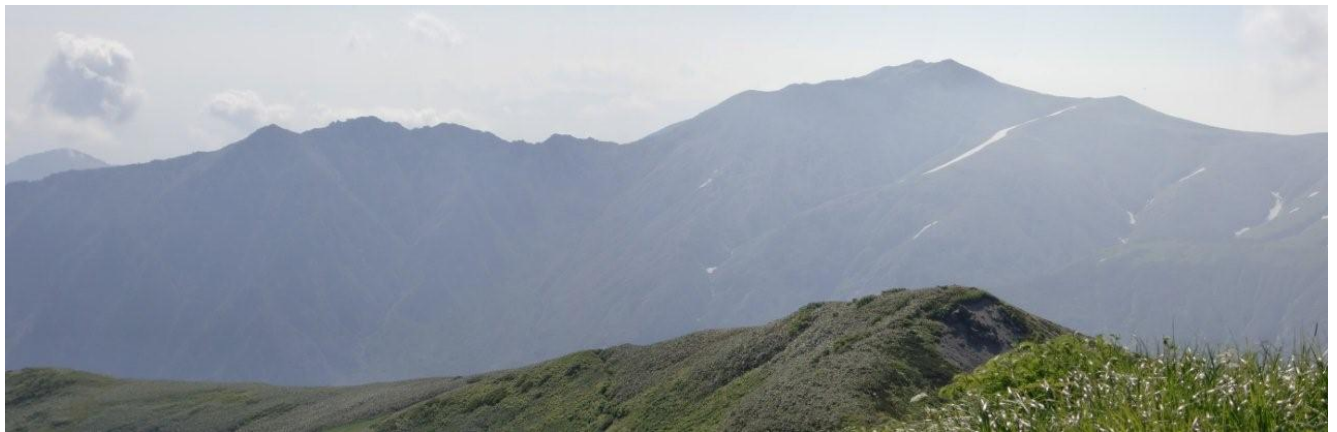
線歩き、駒形山を越え御西岳へと向かう。登山道の両側「ヨツバシオガマ、ニッコウキスゲ、ハクサンフロ

ウ」と花が綺麗に咲いているが夕闇が迫り写真には撮れない。もう水は一滴も無い、御西の水場に寄り冷たい雪解け水で喉お潤し水を汲み 2 時間遅れで小屋に着く。小屋では 2 人がお待ちかね、今日小屋は「満員」で寝る場所は確保できたが食事は外でしなければいけないそう。暗い中ヘッドランプの明かりを頼りに食事を作り持参のアルコールで乾杯、食事を済ませ直ぐ寝る事にしました。明日は帰るだけなので出発を 1 時間遅らす予定だそうです。

2日目

朝 4 時頃から 2 階が騒々しいが疲れて居るので別に気にならない。早立ちの人が出て行き小屋が空いたので朝は小屋の中で食事を済ませ出発する。今日は地神山まで稜線歩き、周りはガスが掛かり何も見えませんがお天気は良いので直ぐ晴れる事でしょう。今日歩く稜線も花が綺麗、ニッコウキスゲやヒメサユリの共演。所がカメラの調子が悪く良く撮れません、残念です。烏帽子岳を越え、梅花皮岳を越え梅花皮の水場の冷たい水で顔を洗い歯も磨くなど

				
わからない花	わからない花	オヤマノエンドウ	イイデリンドウ	ヨツバシオガマ



宝珠山から続くく大嵩尾根飯豊山

ゆっくりと休憩。その後北股岳に登り早い昼食。風も心地よく昼寝する人も。ゆっくり休憩の後ギルダ原を通り門内岳に登り、小屋の前を通り、扇ノ地紙を通り地神山で休んだ後少し行くと登山道脇に「イイデリンドウ」が綺麗に咲いている。地神北峰で縦走路と別れ丸森尾根に入る。ガレ場の歩き難い急な下りを越え丸森峰を通り、夫婦清水を過ぎ、いよいよ最後のガレ場を転ばないように 1 歩 1 歩時間を掛け慎重に下る。此处で転んで怪我などしたら今までの苦労が終わりになる。何とか飯豊山荘前の登山口に着き、汗ビッショリのまま山荘の温泉に入り男 6 人 2 日間の健闘を讃えました。入浴後にビールを飲みたいのですが車の運転が有る為家に帰ってからの楽しみ。飯豊連峰へのコースこれで 9 ヶ所目、今度は湯の平から北股岳へ登りたいです。



北股岳山頂

(おわり)